

- 2/3 情勢～正念場の闘い
- バークレー市議会決議
- 環境等監視委員 4 人の罷免を
- 4/5 ゲート前怒りの早朝行動
- 大阪アクション
- 6/7 コラム～かぐや姫と月の国～
- わんさか通信★ジュゴンのわ

翁長県知事の埋め立て承認取り消しに対して、安倍政権は国土交通大臣による執行停止と代執行手続きの開始で応じました。そして警視庁機動隊を投入し、ボーリング調査を再開しました。キャンプシュワブ前では、座り込んだお年寄り、女性、国会議員などが容赦なく機動隊員によってごぼう抜きにされています。「開発独裁の軍事政権と同じ」（琉球新報社説）です。

しかし辺野古現地では11月11日、早朝500名の県民と全国の市民が座り込み、1時間にわたって作業車両の基地内への進入を阻止しました。警視庁機動隊も一度は撤退を余儀なくされました。無法な暴力で沖縄県民の尊厳と民主主義を求める行動を押しつぶすことはできません。

安倍政権の暴走を止め、ジュゴンの海を守ろう

新基地建設反対の県民世論を背景に翁長沖縄県知事は11月11日に代執行に向けた、国土交通大臣の取り消し撤回指示を拒否しました。知事は記者会見で「国と地方は対等であり、安全保障で地方は黙っておれというのは一人一人の人権を無視するものだ。」と述べました。日本の人権、地方自治、民主主義が根本から問われています。今、辺野古現地とつながった、全国での行動が重要です。

SDCCは11月27日、防衛省、外務省、環境省への要請行動を行い、埋め立て撤回・ジュゴン保護の署名提出を行います。防衛省に対しては、埋め立て承認の留意事項である沖縄県との事前協議（環境保全措置など）に応じることを強く求めます。署名は昨年12月から現在までで約9000筆。目標の1万筆に向け、取り組みを強めています。

政府は「本体工事着工」を宣伝しています。しかし実際はまだボーリング調査すら終わっていません。「トンブロック」の投入により、たしかに海は傷付けられました。しかし辺野古大浦湾はまだまだ健在です。大阪では10月の東京開催につづいて、ジュゴンの海の写真展を行ないます。（12/6とよなかステッ 12/11～27吹田ラコルタ）ぜひ参加してください。（関西 松島洋介）

[WEB] <http://www.sdcc.jp/>

[EMAIL] info@sdcc.jp



工事車両を止めるため、道路に身を投げ出す市民（4面）



エイサーを披露するぶどうの木保育園の園児たち（8面）

情勢

今こそ正念場の闘い～本土からの連帯を

翁長知事は11月11日、埋め立て承認の取り消しの撤回を求めた国土交通大臣の指示を正式に拒否しました。国交大臣はこれを受けて代執行を福岡高裁那覇支部に提訴、第1回口頭弁論が12月初めに行われます。また、安倍内閣は行政不服審査法を悪用して沖縄県の取り消し効力を一時停止させ、11月12日に海底ボーリング調査の掘削を再開しました。さらに、東京から凶暴な警視庁機動隊100人を派遣することで、ゲート前で抗議している市民を鉄柵内に拘留するなど工事を強行しています。この安倍内閣の問答無用の姿勢を、ニューヨークタイムスは社説「沖縄の意思を否定している」(11月4日)で、「平和や人権、民主主義を順守する国家を称する日米両政府の主張が試されている」と批判しています。

大手マスコミは防衛省のプレスリリースのまま「本体工事着工」と流していますが、埋め立て工事の実施設計はできてはいません。防衛省は本土での辺野古支援の闘いを諦めさせ、抑え込むことを狙っているのです。沖縄県は10月28日、「承認に付した留

意事項に基づく事前協議」を行うことと、工事中の環境保全対策を助言する環境監視等委員への寄付・報酬問題について事実関係を明らかにすることを求めるなど反撃に出ています(コラムを参考)。また、承認取り消しの効力を停止した国交大臣決定は違法だと、沖縄県が申し立てた国地方係争処理委員会第1回審査は11月13日に開かれ、来年1月31日までは結論が出されます。文化財保護法に基づき、名護市はキャンプ・シュワブの仮設棧橋予定地で発見した土器などの本調査を求めています。埋め立ての本体着工には数多くのハードルがあります。11月15日島ぐるみ会議はバークレー市議会決議を広げるために訪米します(コラムを参考に)。ジュゴン訴訟は国防総省の意に反して控訴審で審理が始まります。来年9月にはハワイでIUCN(国際自然保護連合)第6回世界自然保護会議が開かれます。沖縄ジュゴン保護を三度決議したIUCNが米国内で開かれるのです。来年1月24日には宜野湾市長選挙があります。オール沖縄の予定候補シムラ恵一郎さんの事務所開きがありました。主な争点は「普天間基地の移設とオスプレイ配備に反対か否か」です。本土からの連帯が重要です。



怒りが充満！

首都圏の連続行動



強硬に辺野古新基地建設を推し進めている政府のやりかたに、東京では、怒りが充満しています。

翁長知事が、辺野古埋め立て承認を取り消したその日、官邸前には多くの市民が駆けつけ「翁長知事を支援する」と、大きな声を挙げました。翌日14日も官邸前には、前日以上の人が集結。その後も、国土交通省前や防衛省前、官邸前での抗議集会が続きました。

また、その間、新宿駅前での情宣活動もありました。行政法の学習会を兼ねた埋め立てを許さない緊急集会もあり。会場いっぱいの人で溢れかえりました。

11月1日に行われた新宿デモは、予想の3倍以上の人数になり、辺野古埋め立て業者の大成建設前で、怒りの声を張りあげました。

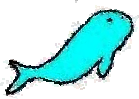
翌日2日は、定例の防衛省前抗議集会があり、絶え間なく抗議行動やデモ、集会が取り組まれ、S

DCCも他の市民団体と共に参加しています。今後も連続的な行動に参加し、翁長知事を全力で支え続け、辺野古の海を守る活動を進めます。(首都圏 宮城韶子)

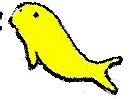


11/1 の新宿デモ

写真提供: 一坪反戦地主会関東ブロック



バークレー市議会決議～米国へ広がる沖縄県民の声

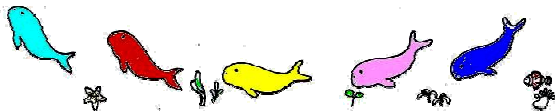


9月15日、カリフォルニア州バークレー市で「沖縄県民を支援し、新基地建設に反対する決議」が全会一致で採択されました。決議は①国家歴史保存法に基づいて連邦裁判所が命じたとおり、(希少生物への影響を)考慮に入れる、適切かつ十分な手続きを取ること、②米国海洋哺乳類委員会(政府の第三者機関)に、上記による分析を改めて再検証すること、③米国議会として、基地建設による環境への影響を再検証すること、④米国議会として、沖縄におけるこの新基地建設決定の過程が、民主的手段を書いていることを指摘すること、などを求めています。沖縄県民の辺野古現地での闘いや、米国でのジュゴン訴訟をはじめ IUCN(国際自然保護連合)での三度の決議などが、バイエリア在住の日系アメリカ人(多数は沖縄出身者)を

励まし、このバークレー市議会決議を生み出しました。11月15日から島ぐるみ会議がこのバークレー市議会決議をアメリカ国内に広げるために、サンフランシスコからワシントンへと訪米します。
(事務局 蜷川義章)



出発式で氣勢を上げる島ぐるみ会議の訪米団
(写真:琉球新報)



コラム

買収された環境監視等委員4人の罷免を

10月28日、沖縄県は沖縄防衛局に「環境監視等委員会委員への寄付・報酬問題」について、11月4日までに「その事実関係と当該委員の選任方法・理由、委員会での発言と妥当性、指導・助言を受けた環境保全対策の検討などの報告」と「委員会議事録の全面公開」を求めました。朝日新聞(10/19)などが「辺野古の環境監視4委員、業者側から寄付・報酬」「辺野古 密室の委員会」などと連日報道したからです。翌20日、菅官房長官は埋め立て工事がさらに遅れることを恐れて「癒着とか疑念を持たれることは避けるべき」と記者会見をしました。

買収された監視等委員4人は、防衛大臣の諮問機関「普天間飛行場代替施設建設事業に係る環境影響評価に関する有識者研究会」のメンバーで、環境

監視等委員長の中村横浜国大大学院教授は有識者研究会の座長、同委員の茅根東大教授は座長代理、同じく荒井京大教授はジュゴンの専門家です。沖縄県が指摘した環境影響評価書の問題点を補正した中心メンバーです。この評価書を作成したのが建設環境コンサル会社「いであ」であり、「史上最悪の環境アセス」(島津康男元環境アセス学会会長)なのです。埋め立て工事による環境悪化を防ぐ環境監視等委員会を中村ら4人と、委員会の運営業務委託を受けた「いであ」が担っているのです。防衛省は「いであ」を業務委託から外す一方、買収された4人を不問にしています。4人の辞任と環境監視等委員会の再編が必要です。

(事務局 蜷川義章)

辺野古から

ゲート前怒りの早朝大行動

11月11日、まだ明けやらぬ午前6時すぎ、続々と工事用ゲート前に市民が集まって来る。水曜日の議員総行動に合わせて市民の大結集も。15日からの島ぐるみ会議の訪米を前にして県民の怒りはキャンプシュワブのゲートを封鎖するまでになっていることを米国に知らしめるとともに、安倍には警視庁機動隊を差し向けようとも県民は怯むことは無いと言う現実を見せつけるための重要な取り組みだ。

工事用ゲートが開かれる7時前にはすでに500名近い市民がゲート前と工事用車両が向かってくる国道沿道に。警察機動隊も最大動員の約300名が市民に襲い掛かる。一旦は排除されかかったゲート前の座り込みも沿道に隊員の手が取られる中で押し返しゲート前を奪還。

工事作業員の車列先頭を確認すると同時に沿道の市民も車道に出て、違法工事をやめるようにアピール。排除され歩道に拘束されても次々と沿道から市民が車列の前に座り込む。車列をブロックすること30分以上。

機動隊は排除を諦め、片側車線に市民を囲い込み、2台目の車両から反対車線を強引に誘導。しかしゲート前は完全に市民が封鎖。車列はゲート前でさらに立ち往生。機動隊がごぼう抜きを試みるがやはり数が多く彼らの思う様にはいかない。あげくに機動隊自ら横に並んで国道を完全封鎖。このため国道はさらに大渋滞。たった11台の作業員

の車を基地内に入れるのに1時間半以上かった。

基地内から見ていた米軍も東京から来た警視庁機動隊も県民の不屈の精神を見せつけられたであろう。

今後さらに機動隊は増強するかもしれない。しかしそれをはるかに上回る市民の結集があれば工事関係車両は止められるし、シュワブそのものを封鎖できることが判った取り組みであった。

代執行翌日の18日、午前6時からの抗議行動に県内各地から1200人が参加。県警や機動隊、そして工事車両の姿はない。ゲート前抗議の座り込みから500日目にあたる。

(沖縄 高垣喜三)



国道を完全封鎖する機動隊

声をあげ続ける ～ストップ！辺野古新基地建設！

知事が埋め立て承認を取り消しても、県民の8割が反対し多くの市民が座り込んでいても、文化財が見つかり、ジュゴンの貴重な餌場（海草藻場）であっても作業を強行する安倍政権。日本はとんでもない国になっている。辺野古は「日本の国の



11/8黄色のプラカードを掲げて



10/20キャンドルアピール

在り方」を私たち一人一人に問うている。だから声をあげ続ける。大阪アクション主催で、10月20日にJR大阪駅前キャンドルアピール、11月8日に「辺野古の海を埋め立てるな！11/8大阪アクション」として集会・御堂筋をデモ「今、辺野古で起こっていることを知ってください」「一緒に考えましょう」と呼びかけました。

(関西 池側恵美子)

写真提供：STOP！辺野古新基地建設！大阪アクション

牧志治さん写真展に参加して

10月12日、辺野古抗議船船長で写真家の牧志治さんの「沖縄・辺野古～ジュゴンの海」写真展を見にいきました。美しい辺野古・大浦湾の海と豊かな自然、クマノミや色とりどりの魚の群れ、ハマサンゴやアオサンゴの群落、7年前初めて参加したじゅごんの里ツアーで見たアオサンゴが鮮明に思い出されました。そして連日海上保安庁の激しい排除にも負けずに闘っている方々の写真を見て、本当に頭が下がる思いでした。先日政府は埋め立て承認取消の効力を停止し、さらに本工事着手しました。しかし絶対に諦めない、この海を守るという思いを新たにしました。

とってもかわいいジュゴンマスコット作りに挑戦、1針1針にこの想いをこめてチクチク縫ってちょっと顔が曲がってしまいましたが不器用な私でも何とか作れました。

いつかジュゴン保護区ができて悠々と泳ぐジュゴン達のことを思いながら、この海を守るためこれからも基地建設反対を訴えていきます！（小安美幸）



牧志さんのお知り合いの方、ブログやチラシを見て来られた方、地元の方には泡瀬に住んでいた方、奄美大島出身の方や親子づれなど多くの人に見ていただきました。2日間で700人の来場者でした

10/25命どう宝 団結まつり in 東京

10月25日秋晴れの中、「命どう宝 団結まつり」が亀戸中央公園で開催されました。ジュゴン保護キャンペーンセンターは、オリオンビールとグッズ販売を行いました。好天にも恵まれオリオンビールが飛ぶように売れました。

今年の団結まつりでは、うれしい出会いが2件ありました。いずれも10/11～12に開催した写真展がきっかけです。一つは、「WE LOVE OKINAWA」プロジェクトの新藤さんが2016カレンダー販売で参加してくださいました。ラミネートでパウチされた写真を並べて辺野古の現状について参加者に訴えました。もう一つは、ミュージシャンのMilk（弥勒）さんがステージで歌ってくださったことです。平和・環境などテーマに三線で琉球民謡やオリジナル曲を披露してくださいました。

沖縄県知事の埋め立て承認取り消し後も強引な手続きで工事を強行する安倍政権に対して、参加者一同があきらめず闘い続けることを決意したまつりでした。（首都圏 三村昭彦）



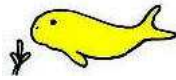
Milk（弥勒）さんのステージ
団結まつりに初めて参加して

10月25日命どう宝団結まつりに初めて参加しました。時おり突風ありましたが日差したっぷりで気持ちの良い一日でした。たくさんの団体が参加していて想像していたよりずっと賑やかでした。そんななか私の担当はオリオンビール販売！SDCC スタッフの方と会場内を歩き歩き完売しました！感謝！ステージではエイサーやmilkさんのライブなど盛りだくさんの催しでした。みなでカチャーシーを踊りとても楽しかったです。

ですが現実沖縄では毎日機動隊がひどい暴力をふるい市民を傷つけている。そして又それが報道されない！怒りでいっぱいです。文子オバア体大丈夫かな？国は信用できない！！沖縄にばかり負担背負わせて怒りでいっぱいです。自分にできることを仲間とやっ払いこうと誓いをあらたにしました。（首都圏 柳沢容子）



報告



大阪バードフェスティバル ブース出展

11月14、15日は、大阪市の長居公園の一角にある市立自然史博物館で行われた「バードフェスティバル」でブース出展をしてきました。複数の会場に別れ、二日間で1万5千人の来場者があったとのことで、とても盛況でした。SDCCは、にじゅうまるプロジェクトと一緒に共同出展です。

ノグチゲラやヤンバルクイナの雛、アカショウビンなど、沖縄の細川太郎さんが撮影した貴重なヤンバルの野鳥の写真の展示とともに、沖縄のジュゴンについてのパネルも展示し、署名集めも行いました。ジュゴンのブースにも多くの方が立寄られ、署名の呼びかけに快く応じて下さいました。

また、子どもたちには「ジュゴンクイズ」にチャレンジしてもらい、それまで知らなかったジュゴンのことについて、親御さんと一緒に楽しく学んで戴きました。「最近では見ないという話もありますが」という方にも、仮設桟橋付近の食み跡や米軍の演習のことを知ってもらう機会になりました。
(関西 海勢頭聖)



㊦んさか通信 ★ ジュゴンの㊦

翁長知事と共に！！

10月13日、座り込み464日目の辺野古キャンプシュワブ前のテントは大勢の人で歓喜に沸いていた。ついに翁長沖縄県知事が埋め立て承認取り消しを発表したのだ。闘病で座り込みはお休み中だったリーダーの山城さんも、この喜びを仲間と共に祝いたいと姿をみせ、誰よりも大きな声で盛り上げてみんなを笑顔に。踊ろう♪歌おう♪と手を取り喜びに溢れていた。

しかし、この先の試練を承知のうえ覚悟の踊りなのだ。これから政府はもっと強行手段を取ってくるはずだけど、どんな手にも屈せず闘おう、知事を支えよう！でも今日だけはお祝いしようよ！と。

案の定政府は何の見直しも検討せずに、辺野古しかないの一点張りで強制し、機動隊を大勢送りこんで座り込みの人々を排除し強硬に工事を進めてきた。あの日踊っていた仲間達は誓った通り、無抵抗で道路をふさぎ国家と闘っている。その姿をみるたびに胸が締めつけられる。

どんなに訴えても審査する側も国……決まった事だ？
こんなのおかしいですよね？！
(沖縄・小平)



かぐや姫 なぜ「月の国」に連れて行かれたか? ～くらむ・コラム～

11月23日は、大阪高槻の本澄寺でコンサートである。三好龍孝・和美さんご夫妻には、感謝で胸一杯である。思えば「卑弥呼コード・龍宮神黙示録」を纏め出版できたのも、ご夫婦の導きがあったからだ。

私が本澄寺コンサートで「はるかな南の海」を歌った時、「月夜の国のその向こう」を訪ねたいとの思いを話すと、奥さんの和美さんが、すかさず「私の故郷大月町のことかしら」と応えていた。それから始まった古代史探求の旅だった。そしてその旅の結論が、現在に続く沖縄対日本政府の闘いの真実を明かしてくれた。それは、気の遠くなるほど長い「龍宮神信仰」に対する迫害の歴史が、この日本という国に存在していたという事実であった。

欽明天皇 539-571 の頃、賀茂大明神の崇りを鎮めるため「葵祭」を始めたという、その頃までは未だ、人々の龍宮神信仰が仏教と並存していたことが伺えるが、684年に起きた白鳳大地震で高知県黒田郡が土佐湾に沈み、大月町柏島沖の部落が海中に没した時の人々の不安は、恐らく大和朝廷が龍宮神信仰を蔑ろにしているこ

とへの怒りが収まらず、仏教に対する反発も頂点に達していたことが伺える。

そして様々な不幸や呪いに見舞われた桓武天皇 737-806 が、794年に平安京に遷都。鎌倉幕府成立まで約400年間平安時代の拠点を京都に置いたが、その桓武が最澄、空海を唐に派遣していることからしても、龍宮神迫害の歴史の流れを読み取ることができる。

そこで私が知りたいのは、その迫害の歴史から逃れた人々の具体的な動向であるが、どうやらそのことを伝えているのが、竹取物語であるように思う。その伝承発祥の地が、奈良の讃岐神社とのことなので、龍孝さんをお願いして、24日に案内して頂こうと待ちわびている。即ち、平安貴族のプロポーズを蹴って、かぐや姫は何故「月の国」に連れて行かれたか?それは和美さんの故郷大月町と関わることだと思うし、そして琉球国成立の歴史に彩りを添える大変重要な証言だと言えるからである。私はそのことを、12月9日東京の座・高円寺での「ガマ月桃の花」上映コンサートで、話そうと考えている。海勢頭豊（うみせど ゆたか：SDOC 共同代表）

お知らせ

「とわの海へ ～辺野古・大浦湾」 ジュゴンの海の写真展

辺野古・大浦湾の海で撮影を続けている牧志治さんの写真を通して、辺野古の自然と現状を知ってほしい、そんな思いで12月に、大阪の豊中と吹田で、写真展を開催します。どうぞ観に来てください。

ー牧志治さん：写真家。辺野古抗議船の船長で、ヘリ基地反対協ダイビングチーム代表。辺野古・大浦湾をフィールドに撮影ー

◆とよなか男女共同参画推進センターすてっぷ

12月6日（日）10時～19時 入場無料

阪急宝塚線豊中駅下車すぐ エトレ豊中5階

*ジュゴンや大浦湾のDVDの上映、ジュゴンの折り紙教室など 随時開催

◆ラコルタ（吹田市立市民公益活動センター）

日時：12月11日（金）～27日（日） 入場無料

火～土 9時半～21時半 日・祝 9時半～17時半
（月曜休館）

*最終日は16時まで

阪急千里線南千里駅徒歩1分 千里ニュータウンプラザ6階

12/20（日）14時～16時、折り紙教室、ジュゴンクイズなどワークショップ開催



<首都圏>

- ・11/27 署名提出、政府交渉（環境省・防衛省・外務省）
- ・11/29（日）11.29 辺野古に基地は造らせない大集会
日比谷野音午後1時半～ 集会後デモ
- ・11/29（日）牧志治さん写真展 荒川町屋文化センター
- ・12/6ZENKO 冬のつどい「戦争する国とめる！ 民主主義を前へ進めるつどい」11時～ 北区豊島ふれあい館ホール

《 今後のスケジュール 》

<関 西>

- ・「辺野古基地建設強行糾弾！12.5 緊急関西集会」
エルおおさか南館 5F ホール 18時～ 講演：伊波 洋一
- ・牧志治さん写真展「とわの海へ」 入場無料
12/6（日）とよなかすてっぷ
12/11（金）～27（日） ラコルタ（吹田）
- ・12/17（木）じゅごん茶話会 午後2時～ 参加無料
- ・12/19（土）「戦争・原発・貧困進める安倍政権を今すぐ倒そう！ 冬のZENKO 集会&デモ」
13時半～浪速区民センター

ぶどうの木保育園バザー

好きな食べ物は？ 「うみぶどう」

ジュゴンのはんは？ 「ジャングサ（海草）！」と元気に答えるぶどうの木保育園（京都府八幡市）の子どもたち。年長さん（5 歳児）たちは、11 年前から毎年7月に3泊4日で沖縄平和キャンプに行っています。今年も伊江島のわびあいの里、辺野古テント村、シュワブゲート前などを訪問して、しっかり平和と命について学んできたそうです。

11/8に創立40周年のバザーに呼んでいただき、ジュゴングッズを販売してきました。オープニングのイサーは年長さんと小学1年の卒園児たちのコラボで。卒園生やご家族もたくさん来られて、地域にしっかり

根付いていることがよくわかりました。ジュゴンが大好きな子どもたち、「かわいいね～♡」とお小遣いでマスコットなどグッズを買ってくれました。



（関西 山根富貴子）

エンディングは、三線バンドに合せて子どもたちも歌いました

カンパをお願いします

「問答無用」の安倍内閣の政治姿勢は彼らの弱さの表れです。新基地建設阻止に向けて、辺野古の闘いを支える一回り大きな闘いを組まなければなりません。来年1月宜野湾市長選挙にはスタッフを派遣します。9月のIUCN（ハワイ）世界会議では沖縄県人会や米国NGOとともに「ジュゴンの海に基地はいらない」キャンペーンを大きく広げます。カンパをよろしくお願いします。

ジュゴンちゃんぶるニュース VOL. 83 2015 年 11 月 24 日発行
ジュゴン保護キャンペーンセンター Save the Dugong Campaign Center (SDCC)

〒162-0815 東京都新宿区筑土八幡町2-2 1

第1千代田ビル301 なかま共同事務所内 TEL/FAX 03-5228-1377

○ <http://www.sdcc.jp/> ○ info@sdcc.jp

（関西連絡先） 〒534-0025 大阪市都島区片町2丁目9番21号野口ビル302

TEL/FAX 06-6353-0514

団結まつりin大阪

11/3 大阪 扇町公園で開催された団結まつりに参加してきました。今年のテーマは、辺野古基地建設反対、戦争法廃止、脱原発など。辺野古から来られた上間芳子さんのアピール「辺野古の基地を止めることが、戦争に向かう国を変えていくこと。来年の参議院選挙に向けて、辺野古、戦争法案廃止、脱原発の運動、みんなで力を合わせましょう」。力強い言葉に元気が出ました。



SDCCはおでんを販売しました。前日から煮込んで味のしみたおでんは大好評で完売！署名や12月写真展の賛同もたくさん集まりました。ありがとうございました。

ハワイ会議にむけてメッセージ集めています☆



11/14-15のバードフェスティバルでは2日間で29枚のメッセージが集まりました。これからもどんどん集めて、ハワイ会議に持って行きます。

会費(2000円)&カンパ振り込み先

郵便振替:

加入者名 ジュゴン保護キャンペーンセンター

口座番号 00140-9-660199

他行、コンビニからは: ゆうちょ銀行 ○○八支店

口座番号 普通 8159084

ちゃんぶるニュース購読会員募集中です。年会費2000円で年6回ニュースをお届けします
お問い合わせは、上記事務所まで。ニュース購読で、あなたもジュゴンサポーターに！